
愛と恋についての獎め

D E G

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛と恋についての褒め

【NZコード】

N9946D

【作者名】

DEG

【あらすじ】

恋をしていますか？それとも恋を求めていますか？愛を求めていますか？何かを期待して人を「好きになつて」いませんか？恋に悩んでいる人には、一度最後まで目を通してもらいたいです。

(前書き)

単なる一個人としての見解と思想です。貴方には貴方の恋愛価値観
があります。

「とにかく、私は○です

痛め付けられて喜ぶわけではなく、頭文字○です

本日は常田頃から誰もが考える
「愛」について、特別講師の先生と私の対談方式で語りたいと思いま
す

家族愛とか友情愛とか博愛とか、そういうふた自然愛でない、基本的に
異性を指しての愛についてです

みんな常田頃から考えないですか？…そうですか

では先生をお呼びしたいと思いま

先生、○お呼びください

「どうぞ」

「とにかく。本日はよろしくおねがいします

「よろしくお願いします」

先生、お名前はなんと？

「アントン・トルストイ」

失礼、なにか非常にややこしいのでやはり先生とお呼びします

「そうですか」

では早速始めます。先生にとつて、眞実の愛とは何でしょうか？

「愛とは最上級の信頼を意味しています。どんな愛でもそれは同じです」

信頼ですか

「はい、そうです。この上ない信頼が愛とも呼ばれるのです」

恋とはどう違うのでしょうか

「恋に深い信頼はありません。人は恋をした時に興奮しますが、その興奮は愛する人には感じません」

さういふ具体的に云つと、どう云つて云つて違いですか

「つまり、恋をしてドキドキしたりハラハラしたりするのは、自身だけの勝手な葛藤だということです。それは信頼がないからこそそうなるのです」

なぜ愛する人にはそうならないのですか

「その必要がないからです。悩まなくてそのまま人は愛してくれるからです」

では人を

「愛している」という状態は、

「恋をしている」状態が進んだものなのでしょうか

「そうとも言えません。愛とは信頼が育むものですから、信頼がない状態の恋が先に崩れてしまつこともあります」

恋が冷める、と云ふことですか

「そうです。その場合の恋とは、ただの期待の感情と云ふことになります」

期待ですか

「はい。つまり信頼のない恋と云ふのは、要するに浅はかな欲の現れなのです」

キツイ言い方ですね

「客観的に見て云ふと、相手に対する恋をするところは、相手に自分の理想を勝手に重ねて期待しているのです」

「あの人なら理想かもしねない」と云う、勝手な妄想と云うわけですね

「そういうことです。いわゆる一目惚れ等はその典型と言えるでしょう

成る程。では、信頼のある恋はないのでしょうか

「もちろんあります。ある程度相手の事を知り、信頼が成り立った上で相手を好きになることです」

その場合に愛が生まれるのですか

「その可能性は高いです。しかしあくまで信頼がない場合に比べてですが」

どういう意味ですか

「つまり、好きになつているということを意識的に考えるのがいけないのです」

好きになつてはいけないのですか

「いいえ。好きになつている、と思つてこむという段階では、まだ期待の感情がそこにあるのです」

それは、つまり?

「つまり、『この人なら』という期待がまだ隠れているのです。それでは結果的に相手がそうでなかつた場合に、愛は生まれません」

あくまでその期待を捨てた上で恋愛をすべきだということですか

「恋愛をするということ概念は結果論だと私は考えます。愛を育む信頼を培うその行為と過程が恋愛だと言えるのです」

では、好きな人を想つて悩んだりするのは恋愛ではないこと言つので

すね？

「はい。しかし好きな人に対しても様々な交流をし、互いの信頼関係を深めていくならそれは恋愛と言えるでしょう」

つまり行動が大事だというわけですね

「そうです。愛が生まれ、それが最上級となつた時に信頼関係は肉体関係に成り得るのです」

先生、それは下ネタですか

「下ネタです」

「そうですか。一理あるかも知れませんが。しかし世の中には、そんな信頼関係を抜いて肉体関係にたどり着く男女が多いですね」

「それは期待を捨て去らずに流されてしまった恋の末路です。信頼関係のない彼等はやがて崩壊するでしょう」

大抵は離婚や別居にたどり着きますね。やはり、愛がないからですか

「そうです。愛は信頼ですから。確固足る信頼は永遠の愛を生むのです」

成る程、よく解りました。では最後にもう一度、眞実の愛について簡潔にまとめて下さい

「愛は求めるものではありません。
信頼が生むものです。

恋も求めるものではありません。
信頼を培うなかで生まれるものです。
人を好きにならうとするのではありません。
人を好きになつていいくのです。
決して焦らずに恋愛をしてください。
貴方の人生は長いのです。いつか必ず、信じられる愛が見つかるは
ずです」

先生、今日はどうもありがとうございました

「どうもありがとうございました」

「はい。えー、では最後に私、Mから皆さんへわかりやすいアドバイ
スを差し上げます

誰かのことが好きなのか、それがはつきりとわからなことときは正直
になつてください

好きかどうかわからなくてもいいんです

そんな時は時間が答えをくれます

出来るなら、純粋に側にいたいと願える人が見つかるまで簡単に決
断しないでください

焦らなくとも、貴方には素敵な愛がきっと訪れると信じてください

それでは、とよつな。

(後書き)

意見、感想などあれば是非お寄せ下さい。
こんな話で何か考へてもいいればうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9946d/>

愛と恋についての獎め

2010年10月10日06時41分発行